

思い出の品の
収納はアルバムや箱を
使うとラク♪



▲1年に1冊と決めて整理した子どもたちのアルバム。写真とともに先生からのお便りや運動会のプログラム、子どもの絵などもコラージュしているので、見返すと本当に楽しいです！



▲旅の思い出はA4判ファイルで整理。ラベリングしているからすぐに探せます。



▲子どもの懐かしい服や工作など大きいものは箱で管理。

キレイなおうち、
ステキな毎日

LESSON

11 思い出の品は未来のエネルギー！

今回は思い出の品の整理がテーマですが、私は収納アドバイザーの割にいっぱい持っている派。特に子どものモノは捨てられません(笑)。

思い出の品は、持っているとうれしいものなので、私は自分の未来のエネルギーになるものとして残しています。ただそれは、自分が管理できる範囲で持つことが前提です。

私の場合、思い出の品は①子どものモノ(絵や文集、作品など)と②旅のモノが多く、①は1人に付き1箱と決めて収納。写真は運動会やお遊戯会でもらったプログラムなどと併せてアルバムで整理しています。

また、②はA4判ファイルを活用。旅から帰ったら1ポケットにパンフレットや買い物のレシートなど(あとから見ると楽しい!)をまとめて入れて保管しています。

ところで、箱でもファイルでも見返すために必要なのはラベリングです。どこに何が入っているのかを明確にしておかないと、あとが大変。思い出に浸ろうにも探すのが面倒になると、せっかくあっても見ない、なんてことに…。

ちなみに私は、箱やファイルには入るだけ入れて、中身はそのまま。あとは老後の楽しみとして、「こんなことがあったなあ!」と一人ニヤニヤしながらいつかゆっくり整理しようと思っています。



3STEPで
もっと使いやすく♪

「思い出の品」 収納ポイント



1 保管する量は
決めておく！



2 どこに何があるか
一目で分かるように
ラベリングは必須！



3 自分が見て楽しくなる
「編集(収納)」を！

★おうちスタイリスト★
米村 大子
YONEMURA HIROKO

整理収納アドバイザー1級、住宅収納スペシャリスト認定講師・宅地建物取引士。現在、「おうちスタイリスト®」として、モデルハウス・個人宅の間取りや収納の提案を行うほか、テレビやラジオにも多数出演。住宅・リフォーム関係のイベントや幼稚園・小学校などの講演・マイホームセンターの収納コラムも担当。個人のお客さま向けの「訪問お片づけサービス・お片づけ講座」も好評開催中。



おうちスタイリスト
米村大子
officialサイト